

九州が
九州と
福岡と
福岡

成績評定制度見直し提案

書類電子化、WEB会議導入も

（一社）建設コンサル
タンス協会九州支部（福
島宏治支部長）は23日、
福岡県と意見交換会Ⅱ写
真Ⅱを開催した。建コン
協の要望・提案事項は就
労環境の整備や技術力に
よる選定等に係る4項
目。技術力に係る項目で
は「業務成績評定」につ
いて、評価のばらつきを
少なくするなどの観点か
ら、国土交通省の平成30
年改訂版要領を活用し
た、制度の見直しを提

案。対応に当たった県土
整備部は「検討中」との
状況を説明するともも
に、改定に際しては関係
する部局との整合を図る
必要があるとした。

また、建コン協は、新
型コロナの感染予防や業
務効率化の観点等から、
見積もり依頼書や契約書
についてメールなどによ
る電子配信を要望。県
は、全国的な印鑑廃止の
流れなども踏まえ、今
後、検討していきたい
等と回答した。

福岡県との意見交換会
には、建コン協九州支部
から福島支部長や渡邊俊
光副支部長とともに、支
部理事や対外活動委員、
地元会員らが出席。県側
は県土整備部の野上嘉久
次長や宮丸正和企画課
長、吉田純彦技術調査室
長らが対応した。

意見交換会の要望およ
び提案事項は、各県・政
令市共通の「担い手の確
保・育成のための環境整
備」「技術力による選定」
「品質の確保・向上」と
ともに、福岡県への個別
要望について。

このうち環境整備等
は、昨年度における同県
の納期状況として、3月
が全体の約30%、第4四
半期の案件は約44%で
あったことを説明した

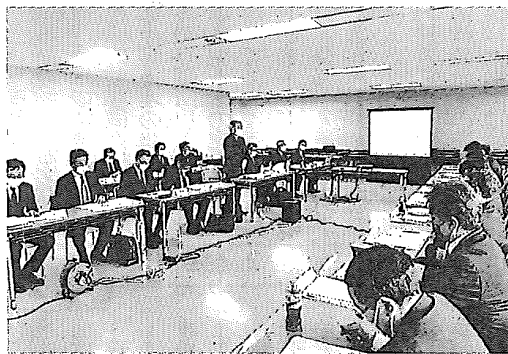
上で、第4四
半期につい
ては、建コン
協の目標で
ある40%以内
に抑えるよう
要望。県は、
ゼロ負債等も
活用しながら
納期が集中し
ないよう努め
たい、等とす
る意向を示
した。

対しては、現行の低入
札対策である第三者照査
で今のところ問題がない
ことから、現時点ではこ
の方式を進めたい、との
考えを示した。

コロナ対策および業務
効率化の観点から建コン
協は、打ち合わせ等での
WEB会議の導入を提
案。県は現在、対応可能
な機器を県土整備事務所
等に1台は配備してお
り、来年度以降、それら
機器を増やすことも検討
していきたい等とした。

品質確保に係る項目で
は、建コン協が業務スケ
ジュール管理表や条件明
示チェックシートの導入
を提案。県は業務スケ
ジュール管理表につい
て、効果的だとは思
うが、もう少しその有効性
について勉強をしてい
きたい。条件明示チェッ
クシートに関しては、手
間がかからないのかな
ど、これから勉強を始め
ていきたい等とした。

ウイーク



福岡県との意見交換会
には、建コン協九州支部
から福島支部長や渡邊俊
光副支部長とともに、支
部理事や対外活動委員、
地元会員らが出席。県側
は県土整備部の野上嘉久
次長や宮丸正和企画課
長、吉田純彦技術調査室
長らが対応した。